

第 84 回紙パルプ研究発表会プログラム

開催日：2017年6月21日（水）・22日（木）
場 所：東京大学弥生講堂

6月21日（水）

挨拶 9:50～9:55
紙パルプ技術協会 理事長 小関良樹
開会の言葉 9:55～10:00
第84回紙パルプ研究発表会実行委員長 岡田比斗志

口 頭 発 表

[パルプ・紙の分析及び物性]

座長（東京農工大学大学院）梶田真也

- 01 10:00～10:20
セルロース系試料の SEC/MALLS 測定による構造解析
（東京大学大学院農学生命科学研究科）○小野祐子,齋藤継之,磯貝 明
- 02 10:20～10:40
ティッシュペーパーの快適感の定量的評価
（筑波大学大学院生命環境科学研究科）○王 嫣然
（筑波大学 生命環境系）江前敏晴
- 03 10:40～11:00
角質化に関する基礎的研究（2）
ー外部フィブリル化と保水値の関係についてー
（東京大学大学院農学生命科学研究科）○木村実,石田昂,磯貝 明

座長（筑波大学大学院）中川明子

- 04 11:00～11:20
非偏光式繊維長測定法を用いた紙中の繊維配合比の検討
（王子ホールディングス株式会社）○武井俊達, 森下敬士, 友田生織, 近藤光隆

[塗工]

- 05 11:20～11:40
デジタル印刷用紙の開発ーインクジェット用紙の技術開発ー
（王子ホールディングス（株））○戸谷和夫,南茂 進

[リファイナリー, 木材化学]

- 06 11:40～12:00
酸素添加アルカリ-AQ 脱リグニン法による木材成分の分離挙動
（東京大学大学院農学生命科学研究科）○勝亦京子,横山朝哉,松本雄二
（中国 南京林業大学）童 国林

[休憩] 12:00～13:00

座長（東京大学大学院）横山朝哉

- 07 13:00～13:20
Pretreatment of Japanese Softwood for Enzymatic Saccharification Using
Ionic Liquid 1-ethyl-3-methylimidazolium acetate[Emin]Ac
Umi Hamidah¹, Yin Ying H'ng¹, Akiko Nakagawa-izumi¹, Masanori Kishino²
1 Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of
Tsukuba
2 Forest Products Research Institute, Hokkaido Research Organization
- 08 13:20～13:40
光増感色素担持型セルロース誘導体の調製とその性質

(京都大学大学院農学研究科) 齋藤靖子,上高原浩,○高野俊幸

座長 (森林総合研究所) 池田 努

09 13:40~14:00

β -O-4 型リグニンモデル化合物のアルカリ性過酸化水素漂白処理
における芳香族アルデヒドおよび芳香族酸の優先的生成について

(東京大学大学院農学生命科学研究科) Pattaraporn Posoknistakul,
秋山拓也,○横山朝哉,松本雄二

10 14:00~14:20

リグニンに含まれるスピロジエノン構造 (β -1 型構造) の同定

(東京大学大学院農学生命科学研究科) ○秋山拓也,横山朝哉,松本雄二

[休憩] 14:20~14:40

[パルプ, 紙, ウェットエンド]

座長 (日本製紙(株)) 後藤至誠

11 14:40~15:00

紙表面の法線分布計測と光沢ムラ分布計測に基づく紙表面形状の推定

(三菱製紙株式会社技術環境部生産技術センター) ○井上信一
(千葉大学大学院融合科学研究科) 牧正矩,津村徳道

12 15:00~15:20

脂肪族化合物を成分とする柔軟剤の特性と効果

(星光PMC株式会社) ○野村健太,古谷孝治

13 15:20~15:40

Totally chlorine-free bleaching with peroxymonosulfuric acid of
dissolving pulp from hardwoods consisting of various lignin structures

○Ayyoub Salaghi, Roni Maryana, Hiroshi Ohi

Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of
Tsukuba

座長 (日本製紙(株)) 永原 大

14 15:40~16:00

溶解パルプの反応向上剤の開発

(王子ホールディングス(株)) ○眞田祥平,木皿幸紀,内田洋介

[休憩] 16:00~16:20

[特別講演]

座長 (王子ホールディングス(株)) 岡田比斗志

S-01 16:20~17:20

テラヘルツ波の発生・検出技術の最近の進歩とその分光・計測への応用展開

福井大学 遠赤外領域開発研究センター センター長 谷正彦

[懇親会]

時間 18:00~20:00

場所: 東京大学 山上会館地階 食堂「御殿」

6月22日(木)

[機能紙, 新素材]

座長 (日本製紙(株)) 永原 大

15 09:20~09:40

粒子状セルロース複合体の開発

(独立行政法人 国立印刷局研究所) ○奥田貴志,尾崎 靖

16 09:40~10:00

イオン液体を活用した湿潤紙力増強手法と水系での応用

(高知大学農学部) ○市浦英明, 廣瀬友香, 増本美咲, 大谷慶人
(河野製紙(株)) 谷口健二

座長 (北越紀州製紙(株)) 根本純司

17 10:00~10:20

キャビテーション噴流を用いた微粒子炭酸カルシウムとパルプの複合体の開発

(日本製紙株式会社 総合研究所) ○福岡 萌, 中谷 徹, 後藤至誠

18 10:20~10:40

リグニン由来の新規難燃材料の開発

(名古屋大学大学院生命農学研究科) ○松下泰幸, 平野大輔, 青木弾, 福島和彦
(名市工研) 高木康雄

19 10:40~11:00

強化繊維を用いた熱可塑性複合素材の開発

(王子ホールディングス(株)) ○河向隆, 立花宏泰, 土井伸一, 梶本頼宏, 磯崎友史

[ポスター紹介]

座長 (王子ホールディングス(株)) 土井伸一

11:00~11:40

ポスターセッション発表者による内容紹介 (2分/件)

P-01 TMP (サーモメカニカルパルプ) 中のリグニンの分布状態の分析

(荒川化学工業(株) 研究開発本部) ○土屋薫, 井岡浩之
(京都大学大学院農学研究科) 高野俊幸, 山内龍男

P-02 脱メチル化によるリグニンのタンニン様ポリマーへの変換

(京都大学大学院農学生命科学研究科)
○小林勅三, 飛松裕基, 上高原浩, 高野俊幸

P-03 PEG・バイサルファイト法による液化したタケリグニンを原料とするカーボン材料

(九州大学大学院農学研究院) 河野陽平, ○藤田弘毅, 堤祐司

P-04 古紙パルプ繊維シートのセルロースナノファイバーコーティング

(東京農工大学農学部) ○ウーデン理也, 門屋智恵美, 岡山隆之

P-05 低密度調整剤および ASA サイズ剤の併用添加がリサイクル紙の物性に及ぼす影響

(東京農工大学農学部) ○岡山侑介, 岡山隆之

P-06 Self-assembly Silver Nanoparticle Ink via Water/Oil Nanoemulsion Method

Donghao Hu¹, Mikio Kajiyama², Kazuyoshi Ogawa¹, Motoyoshi Kobayashi², Toshiharu Enomae²

¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

² Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

P-07 Effect of steaming pressure in thermomechanical pulping on properties of bamboo fiber for medium density fiberboard

○Vu Thang Do^{1, 2}, Lilik Tri Mulyantara^{1, 3}, Hisroshi Ohi¹

¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

2 Vietnamese Academy of Forest Sciences

3 Indonesian Center of Agricultural Engineering Research and Development

P-08 Effect of prehydrolysis and soda-anthraquinone cooking conditions on structural change of lignin from sugarcane bagasse

○Achmad Nandang Roziyanto^{1, 2}, Roni Maryana¹ and Hiroshi Ohi¹

1 Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

2 Polytechnic of Analytical Chemistry AKA Bogor, Ministry of Industry Indonesia

P-09 製紙スラッジ焼却灰の近赤外反射特性

(愛媛大学) ○伊佐亜希子, 城村圭佑, 深堀秀史, 内村浩美

P-10 物理的処理によるセルロースナノファイバーシートの高密度化

(東京農工大学農学部) ○小瀬亮太, 福田結, 岡山隆之

P-11 ナノセルロース界面を反応場とするリグニンの酵素合成

(九州大学大学院) ○宮田拓摩, 鹿又喬平, 北岡卓也

P-12 表面カルボキシ化ナノセルロースによるアセタールの酸加水分解反応

(九州大学大学院) ○田村侑也, 鹿又喬平, 北岡卓也

P-13 Cellulose Nanofiber as an Enhancer of Organocatalytic Reactions

○Mochammad Iqbal Ardi Wibowo, Kyohei Kanomata, Takuya Kitaoka

Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University

P-14 セルロースナノファイバーの紙への応用

(静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター)

○齋藤将人, 白井圭, 山口智久

[休憩] 11:40~12:40

ポスターセッション

P-01~14 12:40~14:00

会場: 弥生講堂 エントランスホール

口頭発表

[環境, 新領域その他の研究]

座長 (三菱製紙(株)) 火置信也

20 14:00~14:20

UAVによるバイオマス量の測定技術

(日本製紙株式会社) ○陶山健一郎, 南藤和也, 河岡明義

(アムセル) 林和典, (千葉大学) 加藤顕,

(株式会社ビジョンテック) 小花和宏之

21 14:20~14:40

製紙スラッジ焼却灰を利用した近赤外線反射材料の調製

(愛媛大学)

○伊佐亜希子, 福垣内暁, 深堀秀史, 西田典由, 内村浩美

[ナノセルロース]

22 14:40~15:00

ナノセルロースを用いた新規多孔質材料の開発(4)

(北越紀州製紙株式会社) ○谷藤溪詩, 福島彰太, 根本純司, 佐藤正, 楚山智彦

(東京大学大学院農学生命科学研究科) 齋藤継之, 磯貝明

座長 (東京農工大学) 小瀬亮太

23 15:00~15:20

Cellulose Nanofiber-Coated Cellulose Sponge Fabrication for Underwater

Oil-Water Separation

Abdul Halim

Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of
Tsukuba

Mikio Kajiyama, Toshiharu Enomae

Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

24 15:20~15:40

TEMPO 酸化セルロースナノファイバーの N_2 ならびに H_2O 吸着等温線を用いた
キャラクターリゼーション

(マイクロトラック・ベル株式会社) ○吉田将之

(東京大学大学院農学生命科学研究科) 田仲玲奈,磯貝明

[休憩] 15:40~16:00

25 16:00~16:20

ナノセルロースを用いたペーパーセンサーの開発

(大阪大学 産業科学研究所) ○古賀大尚,能木雅也

(九州大学 先端物質化学研究所) 長島一樹,井上暉英,柳田剛

座長 (東京大学大学院) 齋藤継之

26 16:20~16:40

ナノセルロース/ポリマー複合マイクロ粒子のエマルジョンテンプレート合成

(森林総合研究所) ○藤澤秀次,戸川英二,黒田克史

27 16:40~17:00

リン酸エステル化セルロースナノファイバー

(王子ホールディングス(株)) ○趙孟晨

28 17:00~17:20

セルロースナノペーパーにおける構造依存的伝熱特性

(立教大学理学部) ○上谷幸治郎,岡田拓巳,大山秀子

.....

閉会の言葉 17:20~17:25

第 85 回紙パルプ研究発表会実行委員長 高野俊幸